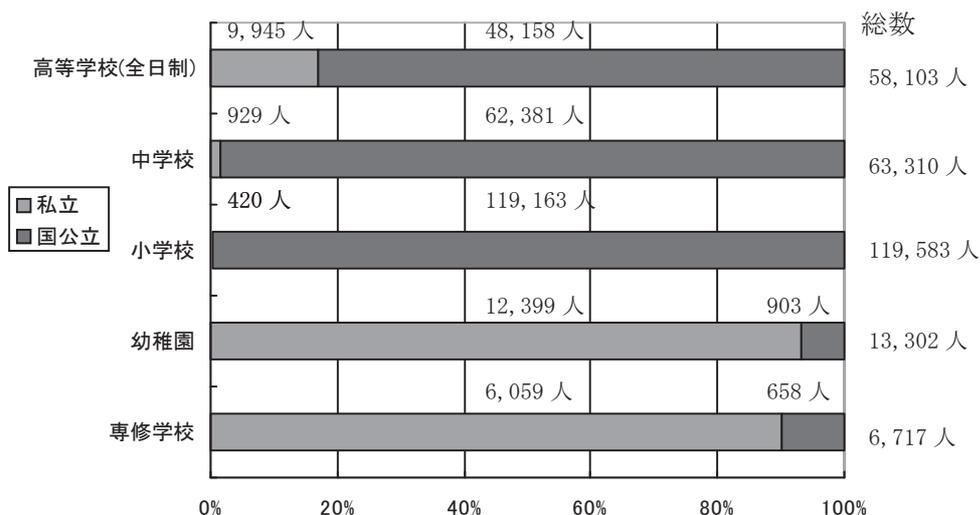


(4) 私学教育の振興

現状と課題

○ 公教育の一翼を担う私立学校にあつては、独自の建学の精神のもと、特色ある教育を行い、本県の人材育成に重要な役割を果たしていますが、少子化が続いており、経営が厳しい状況となっています。

図5-(4)-① 県内私立学校と国公立学校の園児、児童生徒数の比較



文部科学省「学校基本調査」平成24年度

表5-(4)-② 私立高等学校卒業者の進路状況 (学校基本調査結果)

区分	大学(学部)進学率	短期大学(本科)進学率	就職率
23年3月卒業生	47.3%	12.1%	8.8%
24年3月卒業生	47.3%	12.1%	9.8%

表5-(4)-③ 県内私立専修学校(専門課程)卒業者の就職状況

区分	就職率	県内就職率
23年3月卒業生	89.5%	85.5%
24年3月卒業生	93.4%	88.8%

私立学校調書(情報公開・私学課調べ)

就職率 = 就職者数 ÷ 卒業生のうち就職希望者数

県内就職率 = 県内就職者数 ÷ 就職者数

表5-(4)-④ 納付金格差 (単位:円)

区分	公立	私立	比
高校	124,450	606,333	4.87
中学校	0	663,667	—

※平成24年度入学科及び授業料(平均)、私立には施設整備費等を含む
なお、公立の金額は授業料を徴収することとした場合の金額

成果目標

- 私学教育の振興を通じて、県民への多様な教育機会を提供します。

測定指標

測定指標項目	現状値	平成29年度の目標	備考
私立高等学校の募集定員に対する充足率	88.9% (19～23年度平均)	90.0%	入学者選抜結果(現状値は5年間の平均値)

主な施策の展開

私学教育を振興するために、次のような取組を進めます。

① 私立高等学校等の振興

- 私立学校の教育条件の維持向上、保護者の経済的負担の軽減及び経営の健全性の向上を図るため、学校法人が設置する私立幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、専修学校等の運営に要する経費について、私立学校教育振興費補助金により助成を行います。【情報公開・私学課】

② 保護者負担の軽減

- 私立高等学校等における保護者等学費負担者の経済的負担を軽減するため、私立高等学校等就学支援事業及び私立高等学校授業料等軽減事業により、授業料等に対する助成を行い、県民の高等学校等での教育機会の拡大を図ります。【情報公開・私学課】



私立幼稚園の活動風景



私立高校の授業風景